

〈成城学園〉 砧移転100周年事業「これからも街とともに」 “映画の街”成城で、成城学園にゆかりのある映画を観る・学ぶ 「SEIJO シネマデー」を開催

日時：2024年11月9日（土）10：00～

場所：成城大学図書館 地下2階AVホール（成城学園内）

学校法人成城学園（東京都世田谷区 理事長：宮島 和美）は、現在の敷地・成城に移転して2025年で100周年を迎えることを記念し、成城学園の施設を活用した様々な記念行事を行う「成城学園砧移転100周年事業 -これからも街とともに-」の一環として、2024年11月9日（土）に、「SEIJO シネマデー」を開催します。

本イベントは、映画とゆかりの深い成城学園が、成城学園とともに歴史を重ね、見守り続けていただいている地域住民の方々への感謝の気持ちを込めて実施いたします。成城学園・成城大学卒業生の監督作品をご鑑賞いただけるほか、元成城学園職員であり日本映画研究家としても活躍されている高田雅彦氏による特別講座など、好きなプログラムにご参加いただけます。

◇ 「SEIJO シネマデー」 概要 ◇

【日時】：2024年11月9日（土）10：00～17：00

【場所】：成城大学図書館 地下2階AVホール

【入場料】：無料

【プログラム】：10：00

映画『殿、利息でござる』 上映会

13：00

映画講座『成城の街は、まるで映画のオープンセット』

講師：高田 雅彦 氏（日本映画研究家・元成城学園職員）

15：00

映画『PLAN75』 上映会

【予約】：予約制 全席指定

【定員】：各プログラム 90名

※各プログラム毎にご予約ください。未就学児はご入場できません。

【申し込み方法】：予約専用ページからお申込みください。右図のQRコードをご利用ください。

【アクセス】：小田急線成城学園前駅中央改札北口徒歩4分

(<https://www.seijo.ac.jp/access/>)

【お問い合わせ】：成城学園 企画広報部 kikaku@seijo.jp



■『殿、利息でござる』 STORY

金欠の仙台藩は百姓や町人への容赦なく重税を課し、破産と夜逃げが相次いでいた。さびれ果てた小さな宿場町・吉岡宿で、町の将来を心配する十三郎（阿部サダヲ）は、知恵者の篤平治（瑛太）から宿場復興の秘策を打ち明けられる。それは藩に大金を貸し付け利息を巻き上げるといふ、百姓が搾取される側から搾取する側に回る逆転の発想であった。計画が明るみに出れば打ち首確定。千両＝3億円の大金を水面下で集める前代未聞の頭脳戦が始まった。

出典：<https://www.shochiku.co.jp/cinema/lineup/tonogozaru/>

—中村 義洋 氏（監督・脚本）プロフィール

なかむら よしひろ/1994年成城大学文芸学部芸術学科卒業。大学在学中に8ミリ映画製作を始め、『五月雨厨房』が1993年の『ぴあフィルムフェスティバル（PFF）』で準グランプリを受賞。

主な監督作品『アヒルと鴨のコインロッカー』『チーム・バチスタの栄光』『白ゆき姫殺人事件』『忍びの国』ほか。



—鈴木 謙一 氏（脚本）プロフィール

すずき けんいち/1995年文芸学部芸術学科卒業。

在学中は映画研究部に所属。最近の脚本作品『両刃の斧』『ドラフトキング』『密告はうたう』シリーズ。



■『PLAN75』 STORY

夫と死別してひとりで慎ましく暮らす、角谷ミチ（倍賞千恵子）は 78 歳。ある日、高齢を理由にホテルの客室清掃の仕事を突然解雇される。住む場所をも失いそうになった彼女は〈プラン 7 5〉の申請を検討し始める。一方、市役所の〈プラン 7 5〉の申請窓口で働くヒロム（磯村勇斗）、死を選んだお年寄りに“その日”が来る直前までサポートするコールセンタースタッフの瑠子（河合優実）は、このシステムの存在に強い疑問を抱いていく。

出典：<https://happinet-phantom.com/plan75/>

一 早川 千絵 氏（脚本・監督）プロフィール

はやかわ ちえ/1995 年成城学園高等学校卒業。

ニューヨークの美術大学 School of Visual Arts で写真を専攻し、独学で映像作品を制作。

短編『ナイアガラ』で 2014 年カンヌ国際映画祭シネフォンダシオン部門入選。

2022 年長編監督作『PLAN75』がカンヌ国際映画祭「ある視点」部門に正式出品され、新人監督に贈られるカメラドールの特別表彰を受けた。



■ 映画講座『成城の街は、まるで映画のオープンセット』概要

成城は、「成城学園」と映画会社「東宝」の撮影所と共に発展してきた街。多くの映画人が住み、文化人に愛された街であることもよく知られています。東宝以外にも、新東宝、大映、日活の撮影所が近かったことで、成城の街と学園は多くの映画のロケ地となりました。

本講座では、それらの作品と撮影地をスライドを使って辿っていきます。あんな娯楽映画も、こんな傑作も、ここ成城で撮られたことに、皆さんびっくりされるのではないのでしょうか。

一 高田 雅彦 氏 プロフィール

たかだ まさひこ/日本映画研究家。学校法人成城学園の元職員で、成城の街と日本映画に

関する著作を多数執筆。『成城映画散歩』（白桃書房）、『三船敏郎、この 10 本』（同）、

『山の手「成城」の社会史』（共著/青弓社）、『「七人の侍」ロケ地の謎を探る』（アルファベータブックス）の他、

近著に『今だから！植木等』（同）がある。



成城学園砦移転事業 - これからも街とともに -

成城学園は、現在の地・成城に移転して 2025 年で 100 周年を迎えます。

移転 100 周年を記念し、「成城学園砦移転 100 周年特設サイト」を開設しました。

成城学園の施設を活用した様々な記念行事を行う「成城学園砦移転 100 周年事業 - これからも街とともに -」もスタートいたします。

特設サイトは、成城学園と街に関するトリビアを楽しみながらご覧いただけるよう作成しました。移転 100 周年関連ニュースもこちらのサイトで発信していきます。

1917 年に東京市牛込区（現在の東京都新宿区）で創設された成城学園の前身である「成城小学校」は、1924（大正 13）年、当時「東京府下北多摩郡砦村」と呼ばれた現“成城”の土地を購入・分譲し、街づくりが進められ、翌 1925 年に成城学園を移転、校舎が完成いたしました。街の発展とともに“成城”という名が浸透し、1936 年には「砦村」から「成城町」へと地名が変更されました。以来、成城学園を中心に、緑豊かで整備された美しい住宅街や、イチョウの並木道は、“成城”を象徴する風景として親しまれています。

本事業は、成城学園とともに歴史を重ね、見守り続けていただいている地域住民の方々への感謝の気持ちを込めて実施いたします。学園と街が育んできた文化・歴史に触れていただく機会となれば幸いです。